

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先	025-223-7236
------	--------------

年度	令和2年度
施設名	新潟市児童センター
所管部・課	中央区健康福祉課
施設の設置目的	児童センターは児童に健全な遊びを与え、児童の健康及び体力の増進を図り、情操を豊かにすることにより、児童の健全育成に資することを目的とする施設です。

当初予算(千円)	当初人員(人)	作成日	R2.7.5
歳入	正職員	修正日	
歳出	云訂年度任用職員	5	評価日 R3.6.30

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H29実績	H30実績	R1結果	R2目標					R2結果
1	市民	児童・乳幼児と保護者の来館者数の増加	1日平均来館者20人以上（単位：人）	76.9	71	75	20	34	施設や遊び道具の消毒のため閉館時間が短く、また、休館期間があったことを考慮して目標値を設定する。	子育て支援の事業や活動の充実、丁寧な対応 日々、月々、年間の統計	4月・5月は休館の期間があり、来館者が1日平均10人前後であったが、月が進むに連れ増加し3月には58人となった。小学生の利用割合が前年度までよりも低く、その分乳幼児・大人の割合が増加した。	A:達成(優)
2	市民	申込制イベントの参加率の増加	申込制事業参加率70%以上のイベントが7割(単位：%)	69.4	77	76	70	97	定員をほぼ半分にしているが、来館者の減少が続いていることを考慮して目標値を設定する。	来館者への積極的な声掛けガイドやホームページ、近隣小学校への働きかけ	定員をほぼ半分にしたり、これまで自由参加にしていたイベントも定員制にしたりしたため、高い割合となった。定員を設けることにより、確実な参加につながったようである。	A:達成(優)
3	市民	新規・継続使用団体の確保	年3団体以上（単位：団体）	17	22	18	—	3	三密を避ける形だと団体の利用はとて難しいが、引き続き関係機関へのPRを行う。	無理のない範囲での、小学校の教育活動への提案や園外保育へのPR	団体利用は三密を避けるためには難しい。その中でも、少人数の団体の利用があった。	B:達成
4	市民	来館者の満足度	アンケートによる児童センター満足度「とても満足」60%以上(単位：%)	65.6	80.0	80.0	60.0	78.0	閉館時間の短縮や昼食をとれないこと、遊び道具や遊び方が限られた状況だったことを考慮して目標値を設定する。	来館者対象の利用者アンケート実施	「とても満足」の数値が目標値を18ポイント上回った。「おおむね満足」を含めると、99%に達している。引き続き、利用者の満足に努めていく。	A:達成(優)
5	市民	利用促進のための広報の充実	職員による訪問PRを6回以上(単位：回)	11	14	13	6	9	訪問があらかじめ決定している場でのPRを主な回数とする。	子育て支援講座、就学時説明会、ガイド配付時や市内子育て支援施設等へ訪問広報活動	コロナ禍の中ではあったが、「ゆりかご学級」やガイド配付時などで広報活動を行うことができた。特に就学時説明会では、説明学校数を増やすことができた。	B:達成
6	業務	災害及び、事件・事故発生時の対応強化による安全安心の確保	万代市民会館全体で行う避難訓練に職員・来館者12人以上参加(単位：人)	3	6	9	12	11	6月の第1回避難訓練に7人の参加があったので、プラス親子一組の目標とする。	勤務時間やイベントなどの調整 来館者が協力しやすい体制づくりや働きかけ	第2回避難訓練では来館者の参加がなかった。来館者の参加の有無が達成に影響する。今後も達成目指して、無理のない範囲で参加してもらえるよう声をかけていく。	C:未達成
7	業務	学生ボランティアの確保	年間15人以上(単位：人)	89	116	142	—	22	今年度、学生ボランティアの確保は難しいと考えたため、数値目標は設定しないが、大学との意見交換を行う。	ボランティア登録制度 大学のボランティア担当窓口への働きかけ	コロナ対策として、8月まではボランティアの受け入れを無とした。9月から受け入れ可としたが、大学等の方針もあり学生の希望が少なかった。	B:達成
8	人材	地域組織活動グループとの連携	連携事業参加人数平均5人以上(単位：人)	22.7	23	25	5	9	実施可能な事業が限られた中、また、大きなイベントの中止があり、目標値を設定する。	連携強化のための相談や話し合い、すみ分けや役割分担明確化による事業の充実	大きなイベントの中止があったり、6月までは全てイベントが中止だったりが、7月から実施可能なイベントが徐々に増えていった。コロナ対策をしっかりと行うことができた。	B:達成
9	人材	職員の自己改革や意識改革	研修会等へ職員の参加(平均1人5回 計25回以上)(単位：回)	16	13	16	25	26	今年度研修会への参加が難しい中、自主研修を奨励することとする。	研修会への積極的な参加 自主研修の奨励	休館中の自主研修に力を入れた。後半はオンライン研修に参加することができた。これまで東京開催だったため参加が難しかったが、参加することができた。	B:達成
10												

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<p>新型コロナウイルスのため、来館者がぐんと少なくなりました。利用者の方々の新型コロナウイルス感染症予防の意識や児童センターが閉館になったり、開館時間が短くなったり、遊べる道具が少なかったり、イベントが少なくなったりするのが要因であると考えます。今後もしばらくの間このような状況が続くと思われる中で、来館者の満足や確保に可能な限り努めています。</p> <p>このような中、自らの資質・指導力の向上に努めるとともに、地域組織活動グループや小学校、他施設と連携し、事業の充実に努めます。また、日々の施設遊具の点検や遊びの見守りを確実にを行い、安心安全で健全な遊びの場を子どもたちに提供します。日々、利用者それぞれの状況に応じた言葉かけをし、心のこもった丁寧な対応をします。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大予防のため4月は6日間、5月は13日間休館となった。また、来館者は4月の一日平均が7.3人で前年度の約1割だったが、徐々に増加し年度末の3月の一日平均が58.0人となり前年度までの約7割ほどになった。イベントは6月までは全て中止だったが、7月から実施するイベントが徐々に増えていった。また、イベントの定員を半分にしたり、自由参加を予約制にしたりした。その結果、イベントの参加率が大幅に上昇した。全体的に小学生の利用割合が減少し、大人と乳幼児の利用割合が増加した。このような状況の中ではあるが、「指導員の皆さんが、優しく接してくれ児童センターに来るのが楽しみです。」という声をたくさんいただいた。今年度も交付金により、多くの遊具や備品をリニューアルすることができた。</p> <p>令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響が続いていくと予想される。消毒や三密対策に引き続き努め、PRに努め他の施設にはない児童センターのよさや持ち味を積極的に発信していきたい。また、「楽しかった。また来たい。」と感じる児童センターを目指し、利用者それぞれに寄り添い、状況に応じた言葉かけをし、心のこもった丁寧な対応をしていきたい。</p>